

令和6年4月19日

## 平成29年COI拠点事業 若手連携研究に ご参加いただいた皆様へ

弘前大学は、2013年11月より文部科学省の事業である、革新的イノベーション創出プログラム（COI拠点研究事業）の拠点の一つとして、「認知症・生活習慣病研究とビッグデータ解析の融合による画期的な疾患予兆発見の仕組み構築と予防法の開発」を実施しております。

本事業では、岩木健康増進プロジェクトで長年蓄積されたデータに今年のプロジェクト健診データを加えた膨大なデータから、生活習慣病（がん、脳卒中、心筋梗塞、認知症、糖尿病など）を予測したり予防したりする方法をみつけようというものです。それができれば健康と青森県の短命県返上に役立ちます。

この度、平成29年の岩木プロジェクト健診「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発」において取得された健診データと、平成29年と30年に実施いたしました若手連携研究「認知症予防・早期発見を目指したゲノム・多層オミックス情報を活用したバイオマーカー探索」のデータ（血液中に含まれる代謝物測定データ）を引き続き活用させていただきたくご協力をお願い申し上げます。

**研究課題名：**記憶力障害予防・早期発見を目指した代謝物バイオマーカーの探索

**研究目的：**青森県は男女とも平均寿命が最下位レベルであり、健康寿命も下位グループとなっています。その健康寿命を延伸するためには加齢性疾患および生活習慣病を予防すること、また早期発見して治療することが重要です。健忘型軽度認知機能障害（MCI）は記憶力障害を特徴としており、その後、正常に戻る方がいる一方、認知症へと高率に進展することが報告されています。

そこで本研究では認知症の前段階であるMCIを早期に発見する診断マーカーを開発することで、認知症の新たな危険因子・防御因子を特定することを目的としています。これにより予防法および治療法の開発が進み、個々の発症リスクに応じた予防・治療法の確立につながることを期待されます。

**研究実施期間**：実施許可日～令和7年3月31日まで

**対象となる方**：平成29年に実施した岩木プロジェクト健診「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発」に参加し、若手連携研究「認知症予防・早期発見を目指したゲノム・多層オミックス情報を活用したバイオマーカー探索」にも参加いただいた方

### 利用させていただきたい情報

以下の情報を研究責任者である多田羅 洋太の責任の下、標記研究課題実施のために弘前大学内で利用します。

「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発（承認番号：2021-030）」において取得された以下のデータが使用されます。新たに採血などのご協力をお願いすることはありません。

- 個人記録票
- 健康調査票
- 認知機能

「認知症予防・早期発見を目指したゲノム・多層オミックス情報を活用したバイオマーカー探索（承認番号：2018-139）」において取得された以下のデータが使用されます。新たに採血などのご協力をお願いすることはありません。

- 代謝物測定データ

#### 1. データ解析の追加

これまでの本研究により軽度認知障害のバイオマーカーとして血液中の代謝物が注目されています。そこで、既を取得されている代謝物測定データを使用したデータ解析を新たに実施します。これにより軽度認知障害のバイオマーカーをより詳細に探索できるようになり、感度と特異度がより優れたバイオマーカーを見出すことができます。

#### 2. データの利用方法（個人データの匿名化）

代謝物測定データには、平成 29 年から 30 年の本研究で収集し加工（氏名、住所および生年月日と切り離し、照合のための符号・番号を付与）され、岩木データベースに登録された情報です。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。そのため、本研究により個人に還元する臨床的意義のある結果は得られないため、個別の結果については原則としてお答えできません。

### 3. データの保管

本研究で得られた試料・情報については、本学で定める「研究資料等の保存に関する取扱いについて（平成 27 年 9 月 9 日学長裁定第 30 号）」に従い保管されます。具体的には、研究で得られた情報（実験ノート等）については、分子生体防御学講座の鍵のかかるキャビネット内で研究成果公表後 10 年間保管された後にすみやかにデータを廃棄します。

4. 利用する者の範囲：本研究に参画する学内外の共同研究者が使用します。これまで本研究に参画していた弘前大学大学院医学研究科と医学研究科に設置されている共同研究講座のヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社の共同研究者が本研究に参画します。

5. 皆様のデータは、個人情報管理責任者である弘前大学大学院医学研究科 附属健康・医療データサイエンス研究センター 教授 玉田 嘉紀が責任をもって管理します。データには個人情報管理責任者により照合のための番号が付与され、個人情報削除された匿名化データが研究参画機関を含む学内外の共同研究者に提供されます。

6. データを利用されたくない（使って欲しくない）場合は、情報利用停止願を「弘前大学大学院 医学研究科 附属健康・医療データサイエンス研究センター 教授 玉田 嘉紀」宛にお送りください。その場合、それによってご本人が不利益を被ることはありません。情報利用停止願を受け取った後にデータがこの研究に利用されることはありません。

ただし、すでに研究結果が論文などで公表されている場合には、公表済みの結

果を訂正することができませんので、あらかじめご了承ください。ただし、その場合でも個人の情報は公表されておりません。

データを利用してもいい場合には、ご連絡の必要はございません。

<b>本件連絡先</b>	弘前大学大学院医学研究科 分子生体防御学講座 助教・多田羅 洋太 住所：〒036-8562 弘前市在府町 5 電話：0172-39-5512 Emai：ytatara@hirosaki-u.ac.jp
<b>情報利用停止願送付先</b>	弘前大学大学院医学研究科附属健康・医療データサイエンス 研究センター 医療データ解析学講座 教授 玉田 嘉紀 住所 〒036-8562 弘前市在府町 5 電話：0172-39-5037(代表) FAX：0172-39-5205